



「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら
人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、
自分らしく「きらきら」と輝いていける21世紀で
ありたい…。

きらきら

第26号

今、ひとりひとりが…

～「地域の女性力を考える会」を開催しました。～

9月4日 ゆめぽりすセンター

◆関係者懇談会



『地域でもっと女性の力を活かしてほしい』

まず、伊賀市の現状を知ってもらうため、人権政策・男女共同参画課から、平成20年の「自治会の女性登用に関するアンケート」や平成21年の「伊賀市男女共同参画に関する意識調査」の結果を用いて、自治会や住民自治協議会での女性の参画率が低い現状とその理由について説明しました。

『もっと積極的に!』

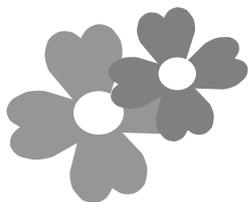
参加者からは、「地域の中で役員への依頼が来たら、与えられた機会を引き受けようという気持ちが大事」、「自治協のなかで女性部会を立ち上げ、地域活性化への活動をしている」、「旧市街地に住んでいるが、封建的なところが残っている。女性が意見を言える場を作ってほしい」、「新興住宅地なので、世帯間の交流を図り、いずれ女性の力を引き出せればと思う」など、いろいろな意見が出されました。



◆研修会『もっと活かそう!地域の女性力』 講師:石阪督規さん (東京未来大学モチベーション行動科学部准教授)



研修会では、石阪先生を講師にお招きし、『もっと活かそう!地域の女性力』と題し、少子高齢化社会が進むなか地域はどうあるべきか、そのなかでなぜ女性の力が必要なのかをお話しいただきました。どこも経験したことのない少子高齢化社会を生き抜くために、これからは地域づくりにも女性や若い世代の力・発想力がもっと必要になるという内容でした。



編集・発行/伊賀市人権生活環境部人権政策・男女共同参画課
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 500 番地
Tel.(0595)22-9632 FAX.(0595)22-9666

編集/伊賀市男女共同参画センター情報紙「きらきら」編集スタッフ
岡 久美子・竹山 佐代子・宮田 美智子・三山 佳代子

悠々講座を
開催しました。

9月25日

講師：山本ヒサ子さん



「いきいきと輝き続けるために～結のすずめ～」と題し、講演いただきました。

センターの見学

10月5日



大山田小3年生
のみなさんが見
学に来てくれ
ました!!



男女共同参画カルタを使って、センターがどういう仕事をしているかを説明しました。みなさん、熱心にメモを取っていました。



TOPICS

part 3

イクジイ

● イクジイとは

「イクジイ」という言葉を聞いたことがありますか？「子育て」ならぬ「孫育て」に積極的に参加している男性のことを指しています。あるNPO団体が「イクメン」になってこう名づけました。

● なぜイクジイに？

イクジイは、高度経済成長を支えてきた世代が中心です。自分の子どもの子育てにはあまり関わってこなかった人も少なくないでしょう。そんな男性たちが、子育てをやり直すことができない代わりに、孫育てに参加しているようです。今年（株）電通が実施した調査によると、孫育てへの参加は「自分の楽しみ」と捉えている人が過半数で、「祖父としての義務」や「育児支援」と考えている人は2割程度でした。

● 働くパパ・ママの強い味方

そうは言っても、子育て世代にとってイクジイの存在は「育児支援」の戦力として心強いものだと思います。仕事を持つお父さん・お母さんにとっては、「予測できない事態」が起こったとき、子どものことをみてくれる人の存在がどれほどありがたいことか。

日本では、出産前に仕事に就いていた女性のうち、約60%の人が出産を機に退職しています。パートや派遣社員といった非正規雇用の方に退職する傾向が強いです。しかし、不景気で「共働き世帯数」が「片働き世帯数」を上回るようになり、これからますますその差が開こうとしている今、育児支援はもっと必要とされるはずで、新しい育児支援の担い手として、イクジイへの期待はどんどん高まりそうです。（男女共同参画係）

11月12日から11月25日は、「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間です。

女性に対する暴力は、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。特に、配偶者や恋人などからの暴力をDV（ドメスティック・バイオレンス）と言い、DVを受けている方は一人で悩みを抱え込みがちです。ひとりで悩まず、相談窓口で電話してみてください。

相談窓口はこちら。

伊賀市役所
こども家庭課
(女性相談)

TEL22-9609

平日

8時30分から

17時15分まで

フレンテみえ
女性相談窓口

TEL 059-233-1133

火～日

9時から12時まで

火・金・土・日

13時から15時30分

木

17時から19時まで

三重県配偶者暴力
相談支援センター

TEL 059-231-5600

月・水・金

9時から17時まで

火・木

9時から20時まで

information

女性講座 ～「自分の人生は自分で決める！」ために～

離婚・親権・養育費などに関する基本的な知識や、シングルマザーが抱える悩みを解消するためのアドバイスを提供します。

とき 12月5日(水) 午後1時30分から3時

ところ ハイピア伊賀4階 ミーティングルーム

定員 20人程度 ※無料託児あり(事前申し込み要)

申し込み受付中!!

申し込み・お問い合わせ

男女共同参画センター

TEL22-9632 FAX22-9666

e-mail jinken-danjo@city.iga.lg.jp



information



再就職準備セミナー in 伊賀

わたらしい働き方さがし



再就職をめぐる環境や現在の動向、求職方法や、履歴書の書き方・面接の対策など、すぐに役立つ情報をお教えします。

とき 第1回 1月18日(金)

第2回 2月15日(金)

第3回 3月 1日(金)

午前10時から
正午まで

お申し込み・お問い合わせ

男女共同参画センター

TEL 22-9632

FAX 22-9666

三重県男女共同参画・NPO課

TEL059-224-2225

FAX059-224-3069

※お申し込みはお電話で!

講義は、3回とも同じ内容です。ご希望の回をお選びください。

ところ ハイピア伊賀4階 ミーティングルーム

対象者 市内在住で、再就職を希望する女性

定員 各回10人程度

無料託児あり(事前申し込み要)

受付開始
12月3日(月)



高校生や若いカップルが楽しそうにしているのを見ると、'あの頃'を思い出して、ほんわかしたり、恋していたことを思い出す秋…。

町でみかける高校生カップルの4人に1人は、「デート DV」の被害経験があるといえます。(2012 年内閣府調べ)
「デート DV」とは、交際相手との間で起こっている体や心への暴力のこと。「DV」と違いはありません。「恋人だから」「好きだから」という理由で、相手を束縛し支配し傷つける「デート DV」は、力で支配する関係。

DV等の女性や子どもへの暴力の根絶のための活動をされている〈NPO法人 女性と子どものヘルプライン・MIE〉堤順子さん ☎090-9223-335 にお話を聞きました。

「若者の多くは、『少々の束縛がなければ相手の愛情が実感できない。』と答えています。

束縛はエスカレートするもの、

支配するための暴力なのです。

DVは、学ばないとわからない、

気づかないことです。

そこに、予防教育は、焦点を当てています。

伊賀では県下に先駆け、4年前から高校で、予防教育を開催、昨年度からは中学校でも開催しています。また、21年度からは(人権政策・男女共同参画課)とNPOの協働事業として、卒業時に伊賀管内の中高校生へデートDVの啓発カードを1800部配布しました。」

お話を聞いて、私たち大人や周りの人も、気づくことでDVがない社会に近づいていくのではないかな、と感じました。

予防教育を受けた生徒の感想

「いつか自分がやってしまうのではないかと思い、気を付けようと思った。(男子)」

「DVは自分には関係ないと思っていたが、意外にも身近なものと感じた。(女子)」



デートDV



11/12~25 は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

あなたのデート相手は…

- 自分のことを最優先にしないとふてくされたり怒ったりしますか？
- しょっちゅう携帯に連絡してあなたの居所や行動をチェックしますか？
- あなたの携帯を勝手にチェックしたり、アドレスやメールを消したりしますか？
- 怒ったときにあなたが「怖い」と思うような態度・行動をしますか？
- すごく優しいときと、すごく怖いときと極端に違いますか？
- あなたの意見や希望を聞かずに勝手に決めることが多いですか？

いくつか当てはまる場合、
専門の相談機関に電話してみましょう。

